

ききょう苑通信



2021年4月1日
第20号



発行：医療法人社団 松和会 介護老人保健施設
「ききょう苑」(年4回発行、創刊2016年4月1日)
〒259-1126 神奈川県伊勢原市沼目6-1237
TEL: (0463) 92-8101 ✉ kikyoen@showakai.or.jp



ききょう苑、2021年4月1日撮影

初心に戻って・・・

「ききょう苑」は医療法人社団松和会(しようわかい)の介護老人保健施設の一つとして、リハビリテーションにより、「日常生活への復帰」を目指した介護を目的に、二〇〇〇年に神奈川県伊勢原市に開設させていただきました。

おかげさまで、「ききょう苑」は、昨年十一月一日に、開設二〇年を迎えることができました。これも、ご利用者家族、伊勢原市、医療機関、消防署、警察署、地域の自治会のみなさま、地域の幼稚園、小学校、種々のボランティアのみなさま、そして、関係各位の多大の温かいご指導、ご理解、ご支援、ご協力のおかげと、心より感謝を申し上げます。

そこで「ききょう苑」も、近年の急激な医療および介護行政の変革、また、社会における介護施設の対置づけの変化などの状況を見据えながら、いかにご利用くださるみなさまのご要望にお答えし、今までの経験をもとに、お役に立てる介護をめざし、職員一同、初心に戻って、さらに努力を重ねていく所存です。とくに、「ききょう苑」は、リハビリテーションを特徴とした施設でもありますので、その強化と充実を積極的に行ってまいります。

そして「ききょう苑」に来て、通って、知って、「良かった」とご利用者、そのご家族、地域社会、そして職員からも言っていただけのような施設作りを目指して行きたいと考えています。そして、引き続き、みなさまの温かいご指導、ご理解、ご支援、ご協力を賜れますよう、心よりお願い申し上げます。



(施設長 小澤 明)

「新型コロナウイルス感染症」予防対策（2）

全職員に対するPCR検査実施

二〇二二年二月十二日、神奈川県福祉子どもみらい局 福祉部高齢福祉課から、高齢者施設などの従事者に対するPCR検査（唾液）実施の通知があり、次のように、約二週間ごとに、三回にわたり、繰返しの検査を申し込み、実施しました。



第一回 二〇二二年二月二十五日（木）
実施…七十二名中七十一名陰性、一名判定不可。

第二回 二〇二二年三月八日（月）、および、九日（火）実施…七十二名全員陰性。

第三回 二〇二二年三月二十四日（水）、および、二五日（木）実施…七十二名全員陰性。

お陰様で、現時点まで、ききょう苑では陽性者は確認されておりません。これも、ご利用者、そのご家族、そして、職員のご理解とご協力の賜物です。

刻々とその感染状況が変わると言われている新型コロナウイルス感染症ですが、これからも、今迄以上に注意を払って、その感染予防、拡大を止めていかねばなりません。どうぞ、引き続き、みなさまのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

ワクチン接種実施に向けて



伊勢原市保健福祉部健康づくり課より、二〇二二年四月八日に開催される新型コロナウイルス「ワクチン接種実施」についての説明会」の知らせが届きました。ききょう苑では、市の指示、指導により、入所リハビリテーションご利用者（六五歳以上）と全職員に対して、苑内において、順次接種を実施する予定です。

（施設長 小澤 明）

苑内で、お花見体験？

三月二十四日、二五日には、苑内で、全国の有名なお花見スポットのバーチャルVTRを見ながら、甘いお汁粉とともに、お花見気分を味わいました。



来年こそは、いつものように、春の日差しを浴びながらのお花見をしたいものです。

（入所事業部 部門長代行 布川 幸子）

ひな祭りの

美味しいお弁当



三月は「ひな祭り」、昼食時にひな祭りのお弁当を楽しんでいただきました。献立は、桜のちらし寿司、お花の豆腐ハンバーグ、野菜の炊き合わせ、菜の花のマヨネーズ和え、すまし汁、和菓子、そして春らしく、桜の花、筍、菜の花、ふきなど春を感じ



られる食材を盛り付けました。

玄関ホールに飾つてある「七段飾り雛人形」とともに、ご利用者からは喜ばれる声が多く聞かれ、季節感を味わっていただけました。

（栄養部主任 木我みな美）

恒例！

春の防災訓練

今年も、恒例の防災訓練を、三月十七日に、伊勢原消防署のご指導とご協力をいただき、「火災訓練」を実施しました。

今回は、とくに、訓練用に購入した「水消火器」を用いた訓練も行いました。「水消火器」とは、消火用のホースから、実際とおなじように、かなりの水圧をもって放水できる装置です。

その放水はなかなかのもので、訓練に参加した職員も、実際の水圧は、イメージ以上で、貴重な訓練、体験となりました。



昔から、怖いものと言えば、「地震、雷、火事、親父」と言われていますが、まさに今の日本では、地震の多発、異常気象、そして、山火事云々と、今こそ「防災の備え」が必要な時ではないでしょうか？

「備えあれば、憂いなし」です。もつとも、今は、「親父」ではなく、「山の神」かもしれませんが、ともかく、ご用心！ご用心！

（防災委員長 泉 友之）



介護報酬の改定について

厚生労働省から。本年四月一日より、介護保険報酬の改定が指示されました。

今回の改定では、「感染症や災害への対応力強化」、「自立支援・重度化防止の取組の推進」、「地域包括ケアシステムの推進」、「介護人材の確保・介護現場の革新」などさまざまな新しい取り組みが必要になってまいります。その中でも介護サービスの質の評価を科学的に行う、「科学的介護情報システム（LIFE）」により介護サービスの質の向上を図る取り組みも始まります。ご利用者のさまざまなデータを匿名化したものを国へ提出し、国からフィードバックされた情報を元にサービス内容などを見直すことも出来るようになっていきます。介護報酬の改定につきましてご不明な点は、支援相談員までお問い合わせください。

（事務長 前田 大介）

編集後記

新年度を迎え、次の十年を見据えて、今年からは、新たな決意を持って、いろいろなことに挑戦して行きたいと思っております。

まずは、ききょう苑の入所、通所、訪問リハビリテーション事業、居宅介護事業の4部門のさらなる連携強化を図るため、個々の事業における医療記録、看護記録、介護記録、リハビリ記録などを一元化し、ご利用者の情報を共有するシステムの構築をすすめています。

これにより、よりきめ細かい個別の介護、リハビリテーションを目指します。

（施設長 小澤 明）